

長期投資家の皆様へ

世界のマーケットの5月前半は楽観が広がっていましたが、下旬に入って新たな悲観材料が欧州に生まれました。イタリアの政局混乱です。選挙によりポピュリズム(大衆迎合主義)勢力が台頭、月末にはようやく連立内閣が発足する見通しとなったものの、一時は組閣寸前で瓦解となって政権が組めない状態に陥っていました。

まだ収束に向けた先行きは不透明で、市場では数年前のユーロ危機を想起してリスクテイクを縮小させる資金フローが起きているわけで、欧州のみならず米日の株式市場でも売り優勢の下落基調が続いて、同時に通貨はユーロ安と円高傾向に転じました。イタリア問題はすぐに劇的変化につながる状況ではないですが、処方箋が明確でないため政治的混乱は長引くかもしれません。

足元では株価調整と円高が同時に進んだことから、「セゾン号」の基準価額はそれを反映して下げ基調で月末を迎えましたが、「セゾン号」の皆さまには十分な耐性が備わっているはずで、3%を超えていた米長期金利は再び低下して、「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」のバランス型ポートフォリオは価格安定機能がしっかり作用しており、「セゾン資産形成の達人ファンド」のアクティブ運用も地域分散が有効性を発揮しています。

マーケットはいったん全体にオーバーシュートして反応していますが、その後は実体経済の強い処から回復して、やがてトータルなファンダメンタルズが反映されるものです。世界経済は拡大基調を変えておらず、低金利傾向がそれを下支えて株式市場も安定した事業収益力を持つ企業からリバウンドするはずで、「セゾン号」のアクティブ運用には相対的に力量を発揮し易い環境でもありましょう。

長期投資家にとっては言うまでもなく投資行動を継続することが何より大切な時期で、こうした下落調整は将来の果実が育つ前提でもあるのです。年初からの能天気な適温相場なるものはすっかり終焉して、良い材料も悪い材料も有りの、ごく普通の相場に戻っただけで、これからも楽観と悲観を繰り返しながらの相場を乗り越えて長期投資の旅は続きます。事象をしっかり把握しつつも、どっしりと進んで参りましょう。

代表取締役社長 中野 晴啓

今月の市場動向

世界の株式市場についての概況

株式市場は、米国など一部を除いて力強さを欠く展開となりました。

序盤に開催された米連邦公開市場委員会(FOMC)の声明では、金融引締めを急がない姿勢が示されたものの、政策金利の引き上げ観測が維持されてやや軟調な展開となり、その後も、米国と中国の貿易摩擦解消のための協議に具体的な進展が見られず、力強さを欠く展開となりました。

中盤にかけては、トランプ米国大統領が、欧州などと共同でイランと結んでいた、イランの核開発を大幅に制限する見返りに経済制裁を緩和する合意から離脱すると発表したことを受けて、中東情勢の不安定化への懸念が拡がって軟調に推移する局面もあったものの、米国で消費者物価指数の落ち着きが確認され、金融引締めへの警戒が和らいで上昇しました。中盤以降は、イランへの制裁による供給減少懸念を背景に原油価格が上昇するなかで、米国で良好な経済指標の発表が続いたことを受けて物価上昇観測が高まり、長期金利が上昇したことから、資金流出への警戒が強まって全般的に力強さを欠く展開となり、特に新興国の株式市場が、米国での金利上昇やドルの上昇を受けて過剰債務への警戒が高まったことを受けて下落しました。終盤には、米国と北朝鮮の首脳会談の行方が不透明なものとなったことや、イタリアで政治的な混乱への警戒が拡がったこと、さらには米トランプ政権が欧州連合(EU)などに対する鉄鋼関税の発動を発表し、貿易摩擦の深刻化への懸念が高まったことから、リスク選好が後退して下落しました。

5 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY 原油先物 (WTI/直近限月) / 1 バレル	67.04 ドル	-2.23%
NY 金先物 (中心限月) / 1 トロイオンス	1304.7 ドル	-1.55%

米国がイランへの経済制裁を再開したことを受けて供給への不安が高まり、原油価格は途中まで上昇しましたが、終盤には供給増加観測が高まり下落しました。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

5 月度の市場動向について

米国株式

米国の株式市場は、上昇しました。

序盤、製造業の景況感を示す指数が2ヶ月連続で予想以上に低下して景気の先行きに対する明るい見方が後退し、その後は連邦公開市場委員会（FOMC）を経て、6月に政策金利の引き上げが行われるとの見方が維持されるなかで、雇用統計が力強さを欠く結果となり、景気の先行きに対する明るい見方が一段と後退して軟調に推移する局面もあったものの、情報技術関連産業の先行きへの懐疑的な見方が後退したことを受けて上昇しました。中盤にかけては、トランプ大統領がイラン核合意から離脱し、イランへの経済制裁を再開すると発表したことを受けて、中東情勢の不安定化への懸念が広がってやや軟調に推移する局面もあったものの、その後は消費者物価指数の伸びが落ち着いていることが確認され、物価上昇への警戒が和らいで上昇基調となりました。

中盤には、小売売上高や鉱工業生産が堅調な伸びとなり足下の景気の力強さが確認されたものの、政策金利の引き上げペースが加速するとの見方が拡がり、長期金利が上昇したほか、為替市場でドルが上昇したことから、力強さを欠く展開となりました。終盤には、連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録の公表を経て、金融引締め観測が後退したものの、トランプ政権が自動車の輸入に対する関税の引き上げを検討していると報じられたことを受けて、先行きへの不透明感が広がって軟調に推移し、その後はイタリアで政治的な混乱への警戒が強まったことを受けて軟調な展開が継続しました。

5 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル）	24415.84	+1.05%
S&P500（米ドル）	2705.27	+2.16%
ナスダック総合指数（米ドル）	7442.117	+5.32%

連邦公開市場委員会（FOMC）は、インフレ率が一時的に2%を上回る状況を許容する姿勢を示しているほか、一部の参加者が政策金利の長期的な見通しについて慎重な見方を示していることから、金融引締めへの警戒が和らいでいます。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

欧州株式

欧州の株式市場は、イギリスなどが上昇したものの、多くの国で下落しました。

序盤、米連邦公開市場委員会（FOMC）を経て、米国で6月に政策金利の引き上げが行われるとの見方が維持されてドルが上昇する一方で、ユーロ圏で消費者物価指数が予想をやや下回る伸びに留まったことなど背景にユーロなどの欧州通貨が下落するなかで、株式市場は堅調な展開となりました。中盤にかけては、米国がイラン核合意から離脱し中東情勢に対する不透明感が高まったほか、ドイツで製造業受注が3ヶ月連続で前月比マイナスとなり、ドイツ経済の先行きに対する明るい見方が後退したものの、ユーロ圏で金融緩和の長期化観測が広がるなかで、イングランド銀行が物価見通しを下方修正し、イギリスで金融引締め観測が後退したことから、堅調な展開となりました。

中盤以降は、米国で政策金利の引き上げ観測が高まり、為替市場でドルが上昇するなかで、ユーロなどの欧州通貨が軟調に推移したことを背景に堅調な展開が続いたものの、終盤には、ユーロ圏の製造業やサービス業の景況感を示す指数が予想以上に低下し、景気の先行きに対する明るい見方が一段と後退するなかで、トランプ政権が自動車の輸入に対する関税の引き上げを検討していると報じられ自動車産業への影響が懸念されたことから軟調な展開となり、その後はイタリアで政治的な混乱への警戒が高まったことや米トランプ政権が欧州連合（EU）に対する鉄鋼関税の適用を発表したことを受けて、一段と下落しました。

5 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数（ユーロ）	12604.89	-0.06%
仏 CAC 指数（ユーロ）	5398.40	-2.21%
英 FT100 指数（英ポンド）	7678.20	+2.25%
スイス SMI 指数（スイスフラン）	8456.95	-4.83%
MSCI Europe 指数（ユーロ）	129.21	-0.64%

ユーロ圏で物価が伸び悩んでいることに加えて、イギリスでも物価上昇観測が後退しており、欧州では金融緩和環境が長期化するとの見方が広がっています。

5 月度の市場動向について

日本株式

国内の株式市場は、下落しました。

序盤、為替市場でドル高円安基調が続いたことを受けて堅調な推移となり、中盤にかけては米国がイラン核合意からの離脱を表明し、中東情勢の不安定化への懸念が高まって軟調に推移する局面もあったものの、世界的に金融緩和環境が長期化するとの見方が維持されるなかで、北朝鮮情勢の改善への期待が高まったことを受けてリスク選好が強まり、上昇しました。

中盤には、米国で政策金利の引き上げペースが加速し、株式市場から資金が流出することへの警戒が高まる中で、1-3 月期の国内総生産（GDP）がマイナス成長となったことを受けて、国内の景気の先行きに対する懸念が拡がり下落したものの、その後は為替市場でドルが上昇し、ドル高円安が一段と進行したこと、企業業績の改善期待が高まって上昇基調となりました。

終盤にかけては、米国と北朝鮮の会談の行方が不透明なものとなったほか、新興国の債務問題への警戒が高まったことから、リスク回避の動きが強まって為替市場で円高が進行して反落に転じ、終盤もトランプ政権が自動車の輸入に対する関税の引き上げを検討していると報じられたことを受けて自動車産業への影響が懸念されたことから下落基調が継続しました。その後はイタリアの政治的な混乱による債務問題再燃への警戒が高まったことを受けて、リスク回避の動きが強まり、為替市場で円高が進行するなかで、下落しました。

5 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数（円）	22201.82	-1.18%
TOPIX[東証株価指数]	1747.45	-1.68%
MSCI Japan 指数（円）	1032.76	-1.76%

1-3 月期の国内総生産（GDP）は、ガソリンなどの値上がりの影響で個人消費が力強さを欠き、為替市場での円高が進行したことを受けて輸出の伸びが縮小したほか、アパートなどの貸家に対するローンの急拡大が問題視されたことを受けて住宅投資が落ち込んだことで、9 四半期ぶりのマイナス成長となりました。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）の株式市場は、オーストラリアなどが上昇したものの、香港などが下落し、力強さを欠く動きとなりました。

序盤、米国と中国の貿易摩擦の解消を目指す協議に具体的な進展が見られず、先行きへの不透明感が拡がったものの、オーストラリアの貿易黒字が堅調な輸出に支えられて 10 ヶ月振りの高水準となったほか、鉄鉱石価格が上昇したこと、オーストラリアを中心に堅調な展開となりました。

中盤にかけては、オーストラリアで小売売上高が予想を下回り、個人消費の力強さに対する懸念が拡がったものの、経済的に関係の深い中国で輸出や輸入の伸びが予想以上に拡大して景気の先行きに対する明るい見方が拡がったほか、米国で消費者物価指数の落ち着きが確認されたことを受けて政策金利の引き上げペースが加速するとの見方が後退したこと、安心感が拡がって上昇しました。

中盤以降は、米国で良好な経済指標の発表が相次いだことを受けて政策金利の引き上げペースが加速するとの見方が拡がり、資金流出への警戒が高まって軟調な展開となりました。終盤は、米国と中国の通商交渉の行方に不透明感が拡がったことや、トランプ米国大統領が米国と北朝鮮の首脳会談の中止を表明し、北朝鮮情勢の改善への期待が後退したことを背景に軟調な展開が継続し、その後はイタリアで政治的な混乱への警戒が強まったことを受けて下落しました。

5 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数（米ドル）	1389.73	-0.43%
S&P/ASX200 指数（豪ドル）	6011.883	+0.49%
香港ハンセン指数（香港ドル）	30468.56	-1.10%
シンガポール ST 指数（シンガポールドル）	3428.18	-5.14%

オーストラリアの小売売上高は、2 月に持ち直す気配を見せたものの、3 月には再び低迷していることが確認され、個人消費が力強さを欠く状況が続いています。

5 月度の市場動向について

新興国株式

新興国の株式市場は、中国など堅調な推移となる国もあったものの、全体としては下落基調となり、ブラジルが大きく下落しました。

序盤に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）の声明では、金融引締めを急がない姿勢が示されたものの、物価目標の達成や景気の力強さに対する自信が示され、6月に政策金利の引き上げが行なわれるとの見方が維持され、新興国の株式市場からの資金流出への懸念が根強く残るなかで、米国と中国の貿易摩擦解消のための協議で具体的な進展が見られず、先行きの不透明感が広がったことから、軟調な展開となりました。

中盤にかけては、米国がイラン核合意から離脱し、中東情勢の不安定化への懸念が高まったものの、米国と中国の貿易摩擦解消のための協議が継続して行われることとなり、交渉による貿易摩擦解消への期待が維持されるなかで、中国で輸出や輸入の伸びが予想以上に拡大して中国経済の先行きに対する明るい見方が広がったほか、米国で消費者物価指数の落ち着きが確認されたことを受けて、政策金利の引き上げペースが加速するとの見方が後退して安心感が広がり、上昇基調となりました。

中盤以降は、国際通貨基金（IMF）が新興国企業の債務増大を警告したこともあり、新興国のドル建ての債務についての懸念が高まるなかで、米国で堅調な経済指標の発表が相次いだことを受けて物価上昇観測が高まり、利上げペースが加速するとの見方が強まって、不安が広がったことから、下落基調となりました。

終盤には、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録の公表を経て、利上げペースの加速への警戒が和らいだものの、米国と中国の通商交渉の行方に不透明感が広がったことや、トランプ米国大統領が米国と北朝鮮の首脳会談の中止を表明し、北朝鮮情勢の改善への期待が後退したことから軟調な展開となり、その後はイタリアの政治的な混乱による債務問題再燃への警戒が高まったことを受けてリスクを避ける動きが一段と強まって下落しました。

5 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数（米ドル）	1120.71	-3.75%
ブラジルボベスパ指数（ブラジルレアル）	76753.62	-10.87%
中国上海指数（中国元）	3095.474	+0.43%
韓国総合株価指数（韓国ウォン）	2423.01	-3.67%
台湾加権指数（台湾ドル）	10874.96	+2.04%
ロシア RTS 指数（米ドル）	1162.98	+0.78%
S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー）	35322.38	+0.46%
南アフリカ全株指数（南アフリカランド）	56157.89	-3.57%

利上げ観測の高まりを背景に為替市場でドルの上昇が続いていることや新興国の債務問題への懸念が高まっていることから新興国の通貨が下落しており、ブラジルではインフレ懸念が高まったことを理由として、中央銀行が政策金利の引き下げを予想外に見送ったほか、原油価格が上昇したこともあって、インドで物価上昇への警戒が高まるなど、新興国で金融政策が引き締め方向へ向かうことへの警戒が高まっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

世界の債券市場についての概況

米国債は、中盤に物価上昇観測が高まったことを背景に、政策金利の引き上げペースが加速するとの見方が強まって下落する局面もあったものの、その後は安全資産としての需要が高まったことを受けて上昇に転じました。ユーロ圏ではイタリアで政治的な混乱への警戒が強まったことを背景にドイツなど主要国の国債が上昇する一方で、イタリアなど周縁国の国債が下落しました。日本国債は、1ヶ月間を通じて小幅な動きとなりました。

米国債券市場（国債）

米国の国債市場は、上昇しました。

序盤、連邦公開市場委員会（FOMC）の声明で金融引締めを急がない姿勢が示されるなかでも、物価目標の達成や景気の力強さに対する自信が示され、6月に政策金利の引き上げが行われるとの見方があらためて確認されてやや軟調な展開となり、その後は雇用統計での平均時給の伸びや消費者物価指数の伸びがやや力強さを欠いたことから堅調に推移する局面もあったものの、中盤には小売売上高が堅調な伸びとなったことや原油価格が上昇基調となったことを背景に物価上昇観測が高まり、政策金利の引き上げペースが加速するとの見方が広がって大きく下落しました。終盤には連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録で、政策金利の長期的な見通しについての慎重な見方が確認されたことや原油価格が下落したことを受けて、金融引締めへの警戒が和らいで反発に転じ、その後はイタリアで政治的な混乱への警戒が高まったことを受けて安全資産としての需要が高まって上昇しました。

5 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	2.859%付近	-0.094%

欧州債券市場（国債）

ユーロ圏では、ドイツやフランスなど主要国の国債が上昇する一方でイタリアやスペインなど周縁国の国債が下落し、特にイタリア国債が大きく下落しました。

序盤、ユーロ圏の消費者物価指数が予想よりも低い伸びに留まったことを受けて、金融緩和の長期化観測が維持されて堅調な展開となり、その後はイタリアの政治情勢が不透明なものとなったことを受けてイタリア国債が軟調な展開となる一方でドイツなどの主要国の国債は堅調な展開が継続しました。中盤には、米国債が下落するなかで主要国と周縁国の国債がともに軟調な展開となる局面もあったものの、その後はイタリアで欧州連合（EU）に懐疑的な政権が発足するとの見方が強まり、債務問題再燃への警戒が広がってイタリア国債が下落する一方で、ユーロ圏の企業の景況感を示す指数が予想以上に低下し、景気の先行きへの懸念が広がって主要国の国債が上昇しました。終盤にはイタリアで政権発足に向けた調整が難航し、政治的な混乱への警戒が強まったことを受けてイタリア国債が一段と下落する一方で、ドイツなどの主要国の国債が継続して上昇しました。

5 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	0.341%付近	-0.218%

日本債券市場（国債）

日本の国債市場は、上昇しました。

序盤、米国や欧州で国債が上昇したことを背景に堅調な展開となり、中盤以降は、米国で政策金利の引き上げペースが加速するとの見方が広がり、米国債が下落すると共に、為替市場でドル高円安となったことからリスク選好が強まって軟調な展開となりました。終盤には、米国と北朝鮮の首脳会談の行方が不透明なものとなったほか、イタリアで政治的な混乱への警戒が広がり、リスク回避の動きが強まって堅調な展開となりました。

5 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	0.040%付近	-0.015%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

5 月度の市場動向について

世界の為替市場についての概況

為替市場では、ドルが中盤まで米国で政策金利の引き上げペースが加速するとの見方が拡がって上昇したものの、終盤には金融引締めへの警戒が和らいで反落に転じました。ユーロは終盤にイタリアの政治的な混乱により債務問題が再燃することへの警戒が強まって下落しました。円は終盤に先行きへの不透明感が高まり、リスク選好が後退するなかで上昇しました。

ドル・円

円はドルに対して、上昇しました。

序盤、米連邦公開市場委員会（FOMC）の声明を受けて、米国で6月に政策金利の引き上げが行われるとの見方が確認されてドルが堅調な展開となり円安基調となりました。その後は米国の雇用統計での平均時給の伸びや消費者物価指数の伸びがやや力強さを欠いたことからドルが軟調に推移して円高基調となったものの、中盤以降は米国で物価上昇観測が高まったことを背景に、政策金利の引き上げペースが加速するとの見方が強まってドルが上昇し、円安となりました。終盤には、米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録で、政策金利の長期的な見直しについての慎重な見方が確認されたことからドルが下落する一方で、米国と北朝鮮の首脳会談の行方が不透明なものとなったほか、イタリアで政治的な混乱への警戒が強まったことを受けて、リスクを避ける動きが強まって円が上昇し、円高となりました。

ユーロ・円

円はユーロに対して、上昇しました。

序盤、ユーロ圏の消費者物価指数が予想よりも低い伸びに留まったことを受けて、金融緩和の長期化観測が維持されてユーロが軟調な展開となったことから、円高基調となりました。中盤以降は、米国で政策金利の引き上げペースが加速するとの見方が強まりドルが上昇するなかで、円とユーロはともに軟調に推移し、方向感のない展開となりました。終盤にはユーロ圏で企業の景況感を示す指数が予想以上に低下し、ユーロ圏経済の先行きへの懸念が拡がるなかで、イタリアの政治的な混乱によりユーロ圏の債務問題が再燃することへの警戒が強まってユーロが下落する一方で、リスクを避ける動きが強まって円が上昇し、円高となりました。

5 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	108.80	-0.48%（円高）
円／ユーロ	127.30	-3.60%（円高）
ユーロ／ドル	1.1692	-3.22%（ユーロ安）

*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
5 月度運用レポート

「セゾン資産形成の達人ファンド」
運用概況（2018年5月31日現在）

今月のマーケット

株式：【米国を中心に景気の堅調さが確認されたものの、新興国やイタリアの債務問題への懸念が強まり力強さを欠く動き】

途中まで景気の先行きに対する明るい見方が維持され堅調な展開となったものの、中盤以降は新興国のドル建て債務問題に対する懸念が強まったほか、イタリアで政治的な混迷により債務問題が再燃することへの懸念が強まり、リスクを避ける動きが広がって下落しました。

為替：【ユーロが下落しドルが上昇。円は終盤に上昇し、対ドルで小幅な円高、対ユーロで円高】

ユーロが域内の景気の先行きに対する楽観的な見方が後退するなかでイタリアの政治的混迷への懸念が強まって下落する一方で、ドルは米国で景気の先行きに対する明るい見方が維持されて堅調な展開となりました。円は終盤にリスク回避の動きが強まって上昇しました。

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド、コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド、BBH・コア・セレクト・ファンド、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド、アライアンス・バーンスタイン・米国株式集中投資ファンド、米国オポチュニティファンド、コムジエスト日本株式ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月からほぼ変わらず、月末時点で約1.8%です。

ファンドマネジャーからの一言

5月もトランプ米国大統領の発信や政権の動きは市場の注目を集め、貿易赤字の縮小を目指して行われている貿易交渉の動向、イランとの核開発を巡る合意からの離脱、北朝鮮との首脳会談の行方などが金融市場に大きな影響を与えました。また、中盤以降はイタリアの政治的な混迷も金融市場の注目を集めました。

政治的な情勢は、企業や個人が活動する土台となる環境に影響を与えるという点で無視できないものですが、長期の資産形成においては、目先の状況の変化に捉われすぎることなく、常に長期的な視点で個別銘柄の本質的価値を見極め、現在の価格との差が大きくなっていて割安と考えられる銘柄への投資を継続して行っていくことが、最も重要なことであると考えています。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの継続的な投資を通じた長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
5 月度運用レポート

I : ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2018年5月31日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

基準価額	20,760円
純資産総額	607.7億円

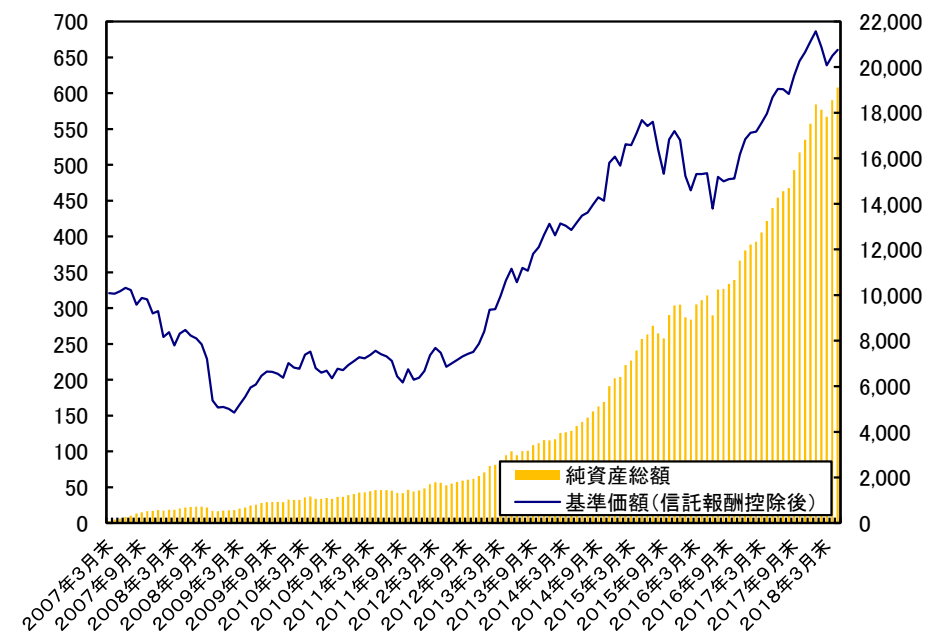
設定来騰落率	107.60%
過去1ヶ月間の騰落率	1.30%
過去6ヶ月間の騰落率	0.49%
過去1年間の騰落率	11.18%
過去3年間の騰落率	17.41%

*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から2018年5月31日まで）

	基準価額	日付
設定来安値	4,601	2009年3月11日
設定来高値	21,912	2018年1月24日

純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

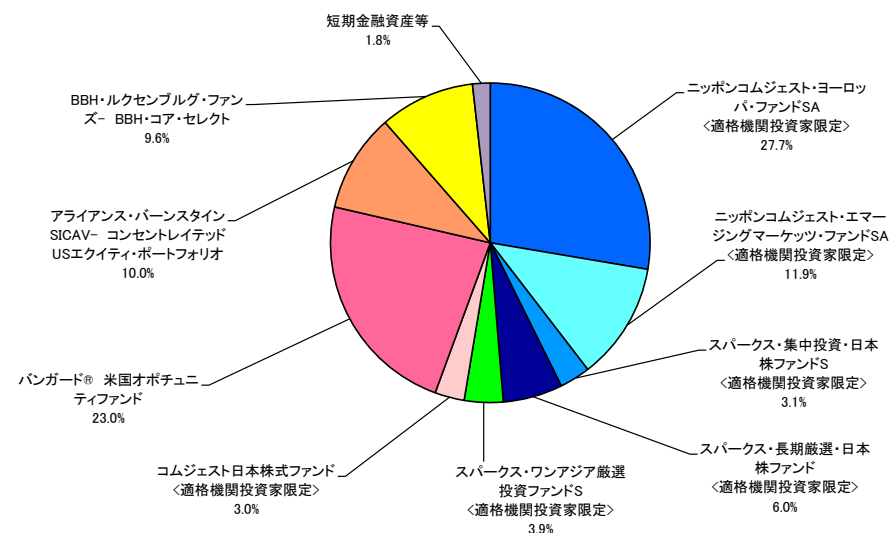
販売用資料
2018.6.5

Ⅱ：ファンド資産の状況（2018年5月31日現在）

投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA 〈適格機関投資家限定〉	27.7%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA 〈適格機関投資家限定〉	11.9%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS 〈適格機関投資家限定〉	3.1%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド 〈適格機関投資家限定〉	6.0%
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS 〈適格機関投資家限定〉	3.9%
コムジェスト日本株式ファンド 〈適格機関投資家限定〉	3.0%
バンガード® 米国オポチュニティファンド	23.0%
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	10.0%
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト	9.6%
短期金融資産等	1.8%
合計	100.0%

資産配分状況(2018年5月31日現在)



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

参考：上記投資比率の場合、当ファンドの信託報酬率（税込0.5724%/年）を加えた、受益者が負担する実質的な信託報酬率は約1.50%です。
（実質的な信託報酬率は、投資状況により変化します。）

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
5 月度運用レポート

参考：国別投資比率、業種別投資比率（2018年4月30日現在）

国別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

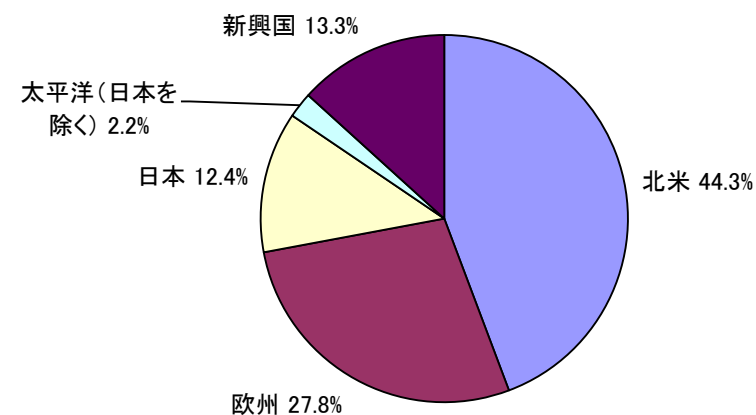
国名	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country Indexの時価総額 に基づく比率	差異
アメリカ	44.2%	52.0%	-7.8%
日本	12.4%	8.0%	4.4%
フランス	6.9%	3.7%	3.3%
スイス	4.6%	2.5%	2.1%
中国	4.0%	3.6%	0.4%
スペイン	3.6%	1.1%	2.6%
デンマーク	3.3%	0.6%	2.8%
ドイツ	3.2%	3.2%	0.0%
イギリス	3.0%	5.8%	-2.8%
ブラジル	1.8%	0.9%	0.9%
香港	1.7%	1.2%	0.5%
韓国	1.7%	1.9%	-0.2%
南アフリカ	1.5%	0.8%	0.7%
スウェーデン	1.1%	0.8%	0.2%
インド	1.0%	1.0%	0.0%
台湾	1.0%	1.4%	-0.3%
ポルトガル	0.8%	0.1%	0.7%
メキシコ	0.7%	0.4%	0.4%
アイルランド	0.7%	0.2%	0.5%
オランダ	0.5%	1.2%	-0.7%
インドネシア	0.5%	0.2%	0.2%
ロシア	0.4%	0.4%	0.0%
オーストラリア	0.4%	2.2%	-1.8%
マレーシア	0.3%	0.3%	0.0%
タイ	0.2%	0.3%	-0.1%
シンガポール	0.1%	0.5%	-0.3%
フィリピン	0.1%	0.1%	0.0%
ルクセンブルグ	0.1%		0.1%

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。

また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の国は、セゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

セゾン資産形成の達人ファンドの国・地域別投資比率



*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の地域は、MSCI の分類を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

販売用資料
2018.6.5

業種別投資比率

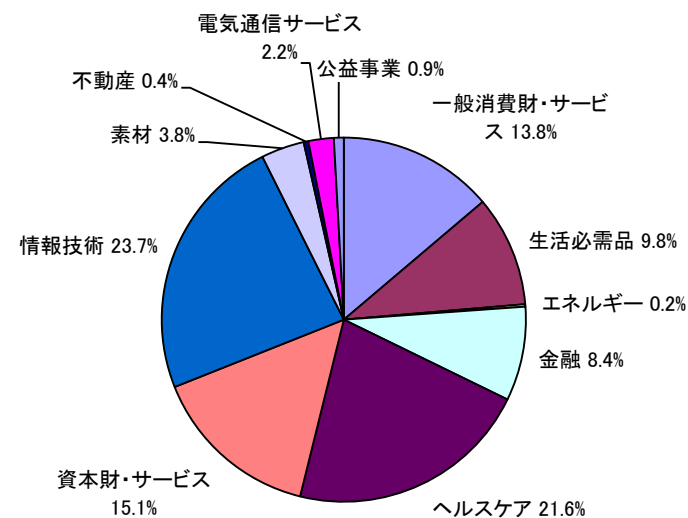
※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

業種	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country Indexの時価総額 に基づく比率	差異
一般消費財・サービス	13.8%	12.4%	1.4%
生活必需品	9.8%	8.2%	1.7%
エネルギー	0.2%	6.7%	-6.4%
金融	8.4%	18.6%	-10.2%
ヘルスケア	21.6%	10.6%	11.0%
資本財・サービス	15.1%	10.7%	4.4%
情報技術	23.7%	18.6%	5.0%
素材	3.8%	5.4%	-1.6%
不動産	0.4%	3.0%	-2.6%
電気通信サービス	2.2%	2.9%	-0.6%
公益事業	0.9%	2.9%	-2.1%

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。

また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

セゾン資産形成の達人ファンドの業種別投資比率



*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

販売用資料
2018.6.5

Ⅲ：為替レートの推移

2007年8月15日から2018年5月31日までの為替レートの推移

外貨建てファンドの組み入れ開始時（2007年8月15日）からの為替レート

日付	円／ドル
2007年8月15日	117.44
2007年12月28日	114.15
2008年12月30日	91.03
2009年12月30日	92.10
2010年12月30日	81.49
2011年12月30日	77.74
2012年12月28日	86.58
2013年12月30日	105.39
2014年12月30日	120.55
2015年12月30日	120.61
2016年12月30日	116.49
2017年12月29日	113.00
2018年1月31日	108.79
2018年2月28日	107.37
2018年3月30日	106.24
2018年4月27日	109.35
2018年5月31日	108.70
変化率（組入来）	-7.44%
変化率（5月度）	-0.59%

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入



円／ドル

※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2018 年 5 月 31 日現在の値

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA 〈適格機関投資家限定〉	220.0
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA 〈適格機関投資家限定〉	168.6
スパークス・集中投資・日本株ファンド S 〈適格機関投資家限定〉	456.3
スパークス・長期厳選・日本株ファンド 〈適格機関投資家限定〉	445.9
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S 〈適格機関投資家限定〉	107.5
コムジェスト日本株式ファンド 〈適格機関投資家限定〉	148.7
バンガード 米国オポチュニティファンド	362.0
アライアンス・バーンスタイン SICAV - コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ	125.0
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト	102.9

2018 年 4 月 27 日の値を 100 とした場合の 2018 年 5 月 31 日現在の値（5 月の動き）

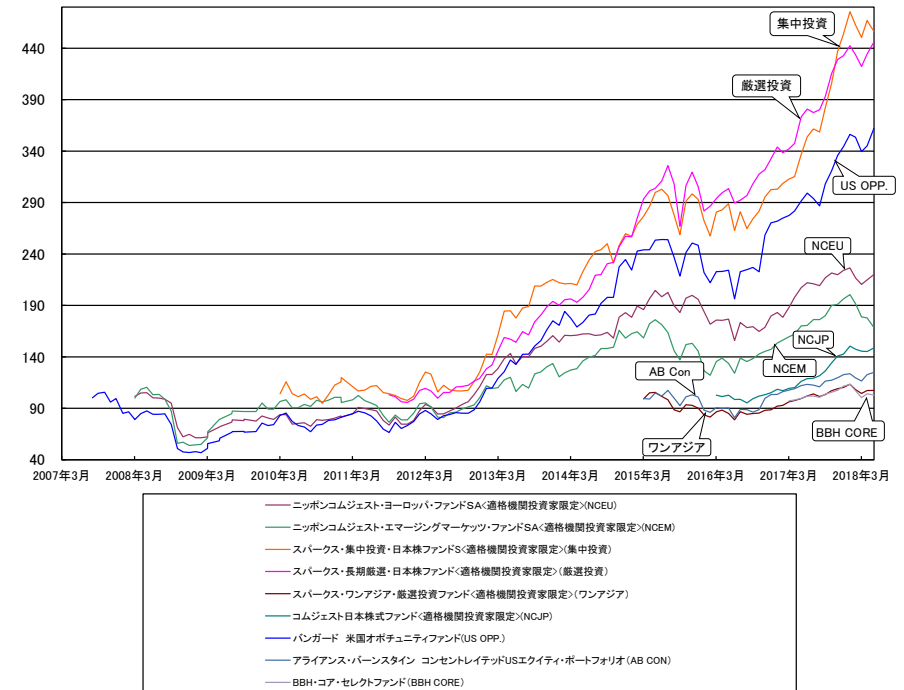
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA 〈適格機関投資家限定〉	102.4
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA 〈適格機関投資家限定〉	94.7
スパークス・集中投資・日本株ファンド S 〈適格機関投資家限定〉	97.7
スパークス・長期厳選・日本株ファンド 〈適格機関投資家限定〉	102.7
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S 〈適格機関投資家限定〉	100.2
コムジェスト日本株式ファンド 〈適格機関投資家限定〉	102.4
バンガード 米国オポチュニティファンド	104.9
アライアンス・バーンスタイン SICAV - コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ	101.9
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト	98.8

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

組入れ開始以来の投資先ファンドの値の推移（円貨建て）



※バンガード 米国オポチュニティファンドは 2007 年 8 月 15 日、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA<適格機関投資家限定>は 2008 年 3 月 12 日、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA<適格機関投資家限定>は 2008 年 3 月 31 日、スパークス・集中投資・日本株ファンド S<適格機関投資家限定>は 2010 年 3 月 19 日、スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は 2011 年 9 月 13 日、アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ（クラス I）は 2015 年 3 月 23 日、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S<適格機関投資家限定>は 2015 年 3 月 24 日、コムジェスト日本株式ファンドは 2016 年 3 月 14 日、BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト（I クラス）は 2017 年 3 月 14 日の値を 100 とし算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です）

セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

投資先アクティブ運用ファンドの状況

各比率は、特に指定がない場合、純資産総額に対する比率を表します。また、小数点第2位または第3位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

5 月度の騰落率は、日経平均株価の-1.2%、東証株価指数（TOPIX）の-1.7%に対し、スパークス・長期厳選・日本株ファンドは+3.3%でした。4 月末時点の当ファンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記の通りです。また、当ファンドの組入銘柄数は 16 銘柄となっています。

資産構成比率

国内株式	95.1%
現金・その他	4.9%

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

	東証33業種	比率(%)
1	化学	14.40%
2	電気機器	14.04%
3	卸売業	12.59%
4	その他製品	10.04%
5	情報・通信業	9.04%

組入上位 10 銘柄※銘柄コード順

銘柄名	業種
花王	化学
ロート製薬	医薬品
テルモ	精密機器
リクルートホールディングス	サービス業
日本電産	電気機器
キーエンス	電気機器
三菱商事	卸売業
ユニ・チャーム	化学
ミスミグループ本社	卸売業
ソフトバンクグループ	情報・通信業

スパークス・集中投資・日本株ファンド S<適格機関投資家限定>

5 月度の騰落率は-2.9%でした。4 月末時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記の通りです。また、4 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.1%、マザーファンドの組入銘柄数は 31 銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス集中投資戦略マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式	94.9%
現金・その他	5.1%

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

	東証33業種	比率(%)
1	機械	15.85%
2	ガラス・土石製品	11.15%
3	化学	10.75%
4	電気機器	9.54%
5	食料品	6.25%

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※銘柄コード順

銘柄名	業種
ビックカメラ	小売業
MARUWA	ガラス・土石製品
三浦工業	機械
日精エー・エス・ビー機械	機械
オルガノ	機械
山洋電気	電気機器
フェローテックホールディングス	電気機器
エフピコ	化学
阪和興業	卸売業
トーセイ	不動産業

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
5 月度運用レポート

コムジェスト日本株式ファンド<適格機関投資家限定>

5 月度の騰落率は、日経平均株価の-1.2%、東証株価指数 (TOPIX) の-1.7%に
対しコムジェスト日本株式ファンドは+3.4%でした。5 月末時点のマザーファン
ドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。ま
た、5 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファン
ドの組入銘柄数は 40 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【コムジェスト日本株式マザーファンド】を通じて投資を行うファミ
リリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式等	94.6%
短期金融資産など	5.4%

組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

銘柄	業種	国	比率
1 ポーラ・オルビスホールディングス	生活必需品	日本	5.0%
2 ファーストリテイリング	一般消費財・サービス	日本	4.0%
3 シスメックス	ヘルスケア	日本	4.0%
4 コーセー	生活必需品	日本	3.7%
5 日本M&Aセンター	資本財・サービス	日本	3.4%
6 ビジョン	生活必需品	日本	3.4%
7 日本電産	資本財・サービス	日本	3.2%
8 キーエンス	情報技術	日本	3.2%
9 ニトリホールディングス	一般消費財・サービス	日本	3.2%
10 スズキ	一般消費財・サービス	日本	3.2%

スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S<適格機関投資家限定>

5 月度の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) *
の-0.6%に対し、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S は-0.5%でした。4 月末
時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、組入上位 10 銘柄は下記
の通りです。また、4 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.1%、
マザーファンドの組入銘柄数は 45 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド】を通じて投資を行うファミ
リリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式	90.9%
現金・その他	9.1%

国別株式投資比率と業種別投資比率

業種	比率(%)	国名	比率(%)
1 一般消費財・サービス	18.39%	1 香港	24.94%
2 金融	17.66%	2 韓国	11.78%
3 情報技術	14.62%	3 オーストラリア	10.04%
4 資本財・サービス	12.28%	4 中国	10.03%
5 生活必需品	11.84%	5 台湾	7.06%
6 公益事業	5.32%	6 インドネシア	5.53%
7 電気通信サービス	3.84%	7 インド	5.44%
8 ヘルスケア	3.53%	8 タイ	4.34%
9 不動産	3.43%	9 シンガポール	3.54%
		10 フィリピン	2.47%
		11 アメリカ合衆国	2.04%
		12 英国	1.32%
		13 ルクセンブルグ	1.29%
		14 マレーシア	1.09%

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※アルファベット順

銘柄名	業種
AIA GROUP LTD	金融
ARISTOCRAT LEISURE	一般消費財・サービス
CHINA STATE CONSTR	資本財・サービス
GUANGDONG INVEST	公益事業
HONG KONG EXCHANGE	金融
LG HOUSEHOLD&HEALT	生活必需品
SAMSUNG ELECTRONIC	情報技術
TAIWAN SEMICON MAN	情報技術
TENCENT HLDGS LTD	情報技術
TRANSURBAN GROUP	資本財・サービス

*MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く)
インデックス (ドル建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン
投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証
するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。
投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

バンガード 米国オポチュニティファンド
(インスティテューショナルシェア・クラス)

5 月度の騰落率（ドルベース）はラッセル 3000 種指数の+2.6%に対し、米国オポチュニティファンドは+6.8%でした。3 月末時点の組入上位 10 銘柄と組入比率、および 4 月末時点の業種別投資比率は下記の通りです。また、4 月末時点の組入銘柄数は 218 銘柄となっています。

資産構成比率

外国株式等	97.1%
現金等	2.9%

組入上位 10 銘柄と投資比率（四半期ごとに更新／上位 10 銘柄の合計：30.0%）

銘柄	業種	組入比率
1 Nektar Therapeutics	ヘルスケア	7.1%
2 ABIOMED Inc.	ヘルスケア	4.7%
3 Southwest Airlines Co.	資本財・サービス	2.8%
4 Eli Lilly & Co.	ヘルスケア	2.5%
5 Seattle Genetics Inc.	ヘルスケア	2.4%
6 Alphabet Inc.	情報技術	2.3%
7 Micron Technology Inc.	情報技術	2.3%
8 Alibaba Group Holding Ltd.	情報技術	2.2%
9 Delta Air Lines Inc.	資本財・サービス	2.0%
10 United Continental Holdings Inc.	資本財・サービス	1.7%

業種別投資比率（普通株式への投資に対する割合）

業種	組入比率
1 ヘルスケア	32.3%
2 情報技術	30.0%
3 資本財・サービス	16.4%
4 一般消費財・サービス	11.3%
5 金融	7.3%
6 電気通信サービス	0.8%
7 素材	0.7%
8 生活必需品	0.6%
9 エネルギー	0.3%
10 不動産	0.1%
11 公益事業	0.0%

アライアンス・バーンスタイン SICAV- コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ (クラス I)

5 月度の騰落率（ドルベース）は S&P500 指数の+2.2%、ラッセル 1000 グロス指数の+4.2%に対し、コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオは+2.8%でした。4 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 20 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄（株式への投資に対する割合／上位 10 銘柄の合計：58.20%）

銘柄	業種	組入比率
1 Charles Schwab	金融	7.60%
2 Abbott Laboratories	ヘルスケア	7.58%
3 Booking Holdings	一般消費財・サービス	6.05%
4 Gartner	情報技術	6.04%
5 Verisk Analytics	資本財・サービス	6.03%
6 Alphabet	情報技術	5.22%
7 Ulta Salon Cosmetics & Fragrance	一般消費財・サービス	5.05%
8 Mastercard	情報技術	5.03%
9 Aptiv	一般消費財・サービス	4.83%
10 Starbucks	一般消費財・サービス	4.77%

業種別投資比率（株式への投資に対する割合）

業種	組入比率
1 情報技術	27.52%
2 ヘルスケア	24.76%
3 一般消費財・サービス	20.69%
4 資本財・サービス	10.47%
5 金融	7.60%
6 素材	4.61%
7 生活必需品	4.35%
8 エネルギー	0.00%
9 不動産	0.00%
10 電気通信サービス	0.00%
11 公益事業	0.00%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト (Iクラス)

5 月度の騰落率（ドルベース）は S&P500 指数の+2.2%に対し、BBH・コア・セレクトは-0.3%でした。4 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 26 銘柄となっています。

資産構成比率

外国株式等	92.8%
現金等	7.2%

組入上位 10 銘柄（上位 10 銘柄の合計：51.2%）

	銘柄	業種	組入比率
1	Berkshire Hathaway Inc	金融	7.4%
2	Oracle Corp	情報技術	6.8%
3	Alphabet Inc	情報技術	5.9%
4	Comcast Corp	一般消費財・サービス	5.5%
5	Wells Fargo & Co	金融	4.9%
6	US Bancorp	金融	4.9%
7	FleetCor Technologies Inc	情報技術	4.5%
8	Novartis AG	ヘルスケア	4.3%
9	Zoetis Inc	ヘルスケア	3.6%
10	Kroger Co/The	生活必需品	3.6%

業種別投資比率

	業種	組入比率
1	情報技術	26.2%
2	金融	18.5%
3	ヘルスケア	17.6%
4	一般消費財・サービス	14.5%
5	生活必需品	12.1%
6	素材	6.1%
7	資本財・サービス	5.1%
8	エネルギー	0.0%
9	不動産	0.0%
10	電気通信サービス	0.0%
11	公益事業	0.0%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA ＜適格機関投資家限定＞

5 月度の騰落率は MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）*の-3.8%に対し、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA は+2.9%でした。5 月末時点のマザーファンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、5 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 35 銘柄となっております。
 （当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。）

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式等	93.4%
短期金融資産など	6.6%

組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

	銘柄	業種	国	比率
1	AMADEUS IT GROUP SA	情報技術	スペイン	6.4%
2	INDITEX	一般消費財・サービス	スペイン	6.2%
3	ESSILOR INTERNATIONAL	ヘルスケア	フランス	4.9%
4	COLOPLAST -B	ヘルスケア	デンマーク	4.8%
5	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	ヘルスケア	フランス	3.9%
6	ASSA ABLOY B ORD	資本財・サービス	スウェーデン	3.6%
7	CHRISTIAN HANSEN HOLDING	素材	デンマーク	3.5%
8	NOVO NORDISK A/S-B	ヘルスケア	デンマーク	3.4%
9	SAP SE	情報技術	ドイツ	3.4%
10	DASSAULT SYSTEMES SA	情報技術	フランス	3.3%

*MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）の騰落率は、MSCI ヨーロッパ・インデックス（ユーロ建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA ＜適格機関投資家限定＞

5 月度の騰落率は MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て換算）*の-3.3%に対し、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA は-5.3%でした。5 月末時点のマザーファンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、5 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 39 銘柄となっております。
 （当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。）

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式等	96.0%
短期金融資産など	4.0%

組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

	銘柄	業種	国	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾	5.5%
2	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	金融	中国	4.6%
3	COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTION A ORD	情報技術	アメリカ	4.5%
4	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	金融	中国	4.2%
5	SAIC MOTOR CORPORATION LTD.	一般消費財・サービス	中国	3.9%
6	BAIDU INC ADR	情報技術	中国	3.8%
7	MTN GROUP LTD	電気通信サービス	南アフリカ	3.7%
8	SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	金融	韓国	3.5%
9	SANLAM LTD	金融	南アフリカ	3.5%
10	NETEASE INC ADR	情報技術	中国	3.2%

*MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て）の騰落率は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（ドル建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
5 月度運用レポート

■ファンドの特色

- ・世界への幅広い分散投資
投資対象ファンドを通じて主として世界の株式に幅広く分散投資します。株式市場が過熱により有望な投資機会がないと判断した場合は、一部債券への投資を行うことがあります。
- ・厳選したファンドへの投資
各地域に強みを持つ運用会社を厳選し投資対象ファンドとします。また、投資対象ファンドは全てアクティブファンドとなります。資産配分比率は、各国の株式市場の規模を考慮しつつも投資対象地域を幅広く分散すること、企業が収益を上げる地域もバランスよく分散されることを意識しております。
- ・長期的な視点に立った運用スタイル
価格以上に価値があると考えられる投資対象に選別投資を行い、成果が上がるまで時間をかけて待つ運用スタイルをとり、長期的な資産形成に適したファンドを目指します。

■投資対象ファンドの選定条件

- ・長期的な視点で運用されていること。
- ・手数料が適正なこと。
- ・ファンダメンタル分析に基づいて運用されていること。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
5 月度運用レポート

■現在の組入れ対象ファンドについて

①バンガード 米国オポチュニティファンド

主要投資対象：主に米国の株式に投資します。

運用方針：平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指します。

②ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて主にヨーロッパ諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

③ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて主に新興諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。新興国市場では様々なリスクが存在するため、健全な財務体質であることや透明なディスクロージャーを行っていることなどを重視し、長期的に信頼できる企業に選別投資を行ないます。

④ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド

主要投資対象：国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債、モーゲージ、アセット・バック債など譲渡可能証券から成る広く分散されたグローバルなポートフォリオに主に投資します。

運用方針：リサーチ・リソースを最大限に活用して、グローバルに全ての投資機会を捉え、厳正なリスク管理を通じてリスク調整後のトータルリターン最大化を目指します。

⑤スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて国内の株式に投資します。

運用方針：ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した国内の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。

⑥スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

主要投資対象：わが国の株式を主要投資対象とします。

運用方針：わが国の金融商品取引所に上場している株式の中から、ベンチマークは設けず 20 銘柄程度に厳選投資を行い、原則として短期的な売買は行わず長期保有することを基本とします。

⑦アライアンス・バースタイン SICAV-コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ(*本レポートでは「米国株式集中投資ファンド」と記載する場合があります)

主要投資対象：主に米国株式に投資します。

運用方針：非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式等から構成されるアクティブ運用型の集中投資ポートフォリオに投資します。

⑧スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の取引所に上場している株式等への投資を行います。

運用方針：個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、企業価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

⑨コムジェスト日本株式ファンド<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

⑩BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト

主要投資対象：主に米国株式市場に上場された中・大型株式に投資します。

運用方針：BBH が定めた 6 つの厳格な投資基準を満たす企業の株式をベースにユニバースを構成し、その中から割安と判断される約 25~30 銘柄のみを選択して集中投資を行います。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

■お申込みメモ

- お申込受付日：原則として、毎営業日にお申込を受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
 - お申込受付時間：原則として、午後 3 時までにご受付いただいた申込みを当日の申込みとします。
 - お申込価額：取得申込日の翌々営業日の基準価額
(当初元本は、1 口あたり 1 円)
 - お申込単位：1 万円以上、1 円単位
定期積立プランの場合は 5 千円以上 1 千円単位
 - 購入時手数料：ありません
 - ご解約受付日：原則として、毎営業日にご解約の請求を受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
 - ご解約請求受付時間：原則として、午後 3 時までにご受付いただいた解約請求を当日の請求とします。
 - ご解約単位：1 口以上、1 口単位 または 1 円以上、1 円単位
 - 解約代金のお支払い：原則として、解約請求受付日から起算して 6 営業日目にお支払いします。
 - 解約価額：解約請求受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額。
 - 信託財産留保額：0.1%
 - 信託設定日：2007 年 3 月 15 日
 - 信託期間：無期限
 - 決算日：毎年 12 月 10 日（休業日の場合は翌営業日）
 - 収益分配：決算時（年 1 回）に収益分配方針に基づき、分配を行います。（基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行わないことがあります。）当ファンドは分配金再投資専用のため、分配金は税金を差し引いた後、自動で再投資いたします。
 - 課税関係：収益分配時の普通分配金ならびにご解約時および償還時の譲渡益相当額（法人の場合は個別元本超過額）に対して税金※が課せられます。
- ※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 5 月度運用レポート

■当ファンドに係る手数料等について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.5724% (税抜 0.53%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 1.35%±0.2% (概算) となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インデックスは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失 (収入の損失、利益の損失、機会費用を含む) について一切の責任を負いません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 349 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口 : 03-3988-8668

営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。